

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 オーナンバ株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5816 URL <http://www.onamba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小山 正孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 鈴木 良弘

TEL 06-6976-6101

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	24,719	—	926	—	778	—	240	—
20年3月期第3四半期	22,421	0.5	903	△46.9	925	△48.5	469	△55.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	19.31	19.28
20年3月期第3四半期	37.69	37.53

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	25,861	12,222	42.4	878.49		
20年3月期	25,367	12,575	44.6	907.13		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,957百万円 20年3月期 11,314百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△2.5	400	△69.5	△100	△107.6	△450	△174.3	△36.08

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

①会計基準等の改正に伴う変更 有

②①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 12,518,251株 20年3月期 12,518,251株

②期末自己株式数 21年3月期第3四半期 45,204株 20年3月期 45,369株

③期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 12,472,855株 20年3月期第3四半期 12,461,362株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間においては、薄型テレビや太陽光発電に対する需要増加を受け、薄型テレビ用ワイヤーハーネス及び太陽光発電配線ユニットの販売が前年同期に比べ増加しましたが、昨年後半、米国に端を発した金融市場の混乱による世界景気の失速、国内外の需要の悪化の影響を受け、当社グループの業績にとって厳しい経営環境となってまいりました。

このような状況のもと、当第3四半期(9ヶ月)の連結業績につきましては、売上高は24,719百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益926百万円(前年同期比2.5%増)となりましたが、為替の円高による為替差損の計上により、経常利益は778百万円(前年同期比15.9%減)、更に投資有価証券評価損の計上により、四半期純利益は240百万円(前年同期比48.7%減)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債、純資産の状況

資産合計は、25,861百万円(前連結会計年度末比493百万円増)となりました。当第3四半期累計期間において売上が増収となったことにより受取手形及び売掛金が250百万円、製品が367百万円それぞれ増加しましたが、投資有価証券が時価評価により271百万円減少したことが主な内容であります。

負債合計は、13,638百万円(前連結会計年度末比846百万円増)となりました。売上増加に伴う支払手形及び買掛金の増加744百万円並びに有利子負債の増加499百万円、未払法人税の納付による減少156百万円が主な内容であります。

純資産合計は、12,222百万円(前連結会計年度末比352百万円減)となりました。主な増減内容としては、利益剰余金の増加110百万円、為替換算調整勘定の減少419百万円、その他有価証券評価差額金の減少47百万円等であります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,859百万円となり、前連結会計年度末に比べて263百万円の増加となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間の233百万円に対し、754百万円となりました。税金等調整前四半期純利益566百万円、減価償却費455百万円に加えて、売上増加に伴う仕入債務の増加1,004百万円、売上債権の増加409百万円、たな卸資産の増加688百万円、法人税等の支払338百万円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間のマイナス493百万円に対し、マイナス764百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出570百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間のマイナス254百万円に対し、431百万円となりました。長期借入金による収入1,400百万円及び社債の償還による支出700百万円等により有利子負債合計で597百万円の収入、また配当金の支払139百万円があったこと等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、本日別途公表しております「特別損失の計上、通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第3四半期連結累計期間において、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、ONAMBA CENTRAL EUROPE S. R. O. は平成20年6月をもって清算を結了したため、第1四半期連結会計期間をもって連結の範囲より除外しております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において算定した貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ②固定資産の減価償却費算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

##### ③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

連結子会社のうち重要性の乏しい子会社における法人税等の納付税額の算定に関しては、前連結会計年度に係る実効税率を適用して算定するなど、簡便な方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、評価基準は原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

##### ③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

### 追加情報

#### (有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正により法定耐用年数の見直しが行われたことに伴い、第1四半期連結会計期間より、一部の固定資産について耐用年数を変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

#### (役員退職慰労金制度の廃止)

提出会社の役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたが、平成20年6月27日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において提出会社の役員退職慰労引当金を全額取崩し、打ち切り支給額の未払い分を固定負債の「その他」に含めて計上しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,079,609	4,815,626
受取手形及び売掛金	8,349,152	8,098,821
製品	2,001,575	1,634,057
原材料	3,022,379	3,021,826
仕掛品	651,933	632,821
繰延税金資産	204,862	206,982
その他	513,401	653,896
貸倒引当金	△6,184	△7,063
流動資産合計	19,816,729	19,056,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,279,341	4,339,164
減価償却累計額	△2,708,621	△2,699,608
建物及び構築物(純額)	1,570,719	1,639,556
機械装置及び運搬具	5,266,180	5,532,570
減価償却累計額	△3,772,010	△4,008,102
機械装置及び運搬具(純額)	1,494,170	1,524,467
土地	1,393,462	1,327,253
建設仮勘定	33,729	85,663
その他	1,175,642	1,173,887
減価償却累計額	△878,588	△859,350
その他(純額)	297,054	314,537
有形固定資産合計	4,789,136	4,891,477
無形固定資産	153,189	52,417
投資その他の資産		
投資有価証券	750,323	1,022,179
長期貸付金	2,790	3,786
繰延税金資産	95,441	68,306
その他	253,519	272,349
投資その他の資産合計	1,102,075	1,366,621
固定資産合計	6,044,401	6,310,516
資産合計	25,861,131	25,367,484

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,542,662	5,798,627
短期借入金	2,453,406	2,234,547
1年内償還予定の社債	—	700,000
未払法人税等	112,855	269,644
繰延税金負債	14,946	—
賞与引当金	111,638	114,406
役員賞与引当金	—	29,000
その他	930,712	1,030,466
流動負債合計	10,166,223	10,176,691
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	2,647,788	1,666,943
繰延税金負債	71,677	21,484
退職給付引当金	270,357	226,732
役員退職慰労引当金	26,120	242,865
その他	56,365	57,330
固定負債合計	3,472,308	2,615,355
負債合計	13,638,531	12,792,047
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,318,539	2,318,539
資本剰余金	2,035,319	2,035,322
利益剰余金	6,917,259	6,806,726
自己株式	△11,648	△11,656
株主資本合計	11,259,470	11,148,931
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,855	24,949
為替換算調整勘定	△279,169	140,623
評価・換算差額等合計	△302,025	165,573
少数株主持分	1,265,154	1,260,931
純資産合計	12,222,599	12,575,437
負債純資産合計	25,861,131	25,367,484

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	24,719,221
売上原価	19,454,885
売上総利益	5,264,336
販売費及び一般管理費	4,338,286
営業利益	926,049
営業外収益	
受取利息	29,015
受取配当金	21,036
設備賃貸料	13,144
持分法による投資利益	9,259
スクラップ売却益	53,478
その他	42,763
営業外収益合計	168,698
営業外費用	
支払利息	79,043
為替差損	183,957
その他	52,932
営業外費用合計	315,933
経常利益	778,813
特別利益	
固定資産売却益	3,797
特別利益合計	3,797
特別損失	
固定資産処分損	6,563
投資有価証券評価損	207,488
ゴルフ会員権売却損	2,166
特別損失合計	216,218
税金等調整前四半期純利益	566,392
法人税、住民税及び事業税	179,158
法人税等調整額	87,204
法人税等合計	266,362
少数株主利益	59,157
四半期純利益	240,872

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	566,392
減価償却費	455,425
持分法による投資損益(△は益)	△9,259
固定資産売却損益(△は益)	△3,797
固定資産処分損益(△は益)	6,563
投資有価証券評価損益(△は益)	207,488
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△681
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,297
退職給付引当金の増減額(△は減少)	44,691
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△216,745
受取利息及び受取配当金	△50,052
支払利息	79,043
売上債権の増減額(△は増加)	△409,343
たな卸資産の増減額(△は増加)	△688,848
仕入債務の増減額(△は減少)	1,004,998
その他	144,040
小計	1,127,620
利息及び配当金の受取額	50,052
利息の支払額	△85,201
法人税等の支払額	△338,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	754,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△570,743
有形固定資産の売却による収入	34,290
投資有価証券の取得による支出	△116,659
投資有価証券の償還による収入	100,000
関係会社株式の取得による支出	△35,000
その他	△175,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	△764,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	439,929
長期借入れによる収入	1,400,041
長期借入金の返済による支出	△542,421
社債の償還による支出	△700,000
自己株式の売却による収入	77
自己株式の取得による支出	△71
配当金の支払額	△139,207
少数株主への配当金の支払額	△26,050
その他	△928
財務活動によるキャッシュ・フロー	431,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	263,934
現金及び現金同等物の期首残高	4,595,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,859,379

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社及び連結子会社は、電線及びその加工部品の製造並びに販売を主な事業としております。電線及びその加工部品以外に係る売上高、営業損益及び全セグメントの資産の金額の絶対値はいずれも10%に満たないため、事業の種類別セグメント情報の作成はしていません。

2 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	ヨーロッパ (千円)	北米 (千円)	アジア (日本を除く) (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,757,437	4,454,396	3,129,399	5,377,988	24,719,221	—	24,719,221
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,830,191	172	5,071	6,667,514	13,502,949	(13,502,949)	—
計	18,587,628	4,454,568	3,134,471	12,045,503	38,222,171	(13,502,949)	24,719,221
営業利益	524,951	303,373	100,094	62,299	990,718	(64,669)	926,049

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度、経済活動の類似性、事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) ヨーロッパ……………チェコ  
 (2) 北米……………アメリカ、メキシコ  
 (3) アジア(日本を除く)…………シンガポール、マレーシア、インドネシア、中国、タイ、ベトナム

3 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	ヨーロッパ	北米	アジア (日本を除く)	計
I 海外売上高(千円)	4,454,396	3,129,399	5,377,988	12,961,783
II 連結売上高(千円)				24,719,221
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.0	12.7	21.8	52.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度、経済活動の類似性、事業活動の相互関連性によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) ヨーロッパ……………チェコ  
 (2) 北米……………アメリカ、メキシコ  
 (3) アジア(日本を除く)…………シンガポール、マレーシア、インドネシア、中国、タイ、ベトナム

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

勘定科目	前第3四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	
	金額	百分比
		%
売上高	22,421,506	100.0
売上原価	17,472,173	77.9
売上総利益	4,949,333	22.1
販売費及び一般管理費	4,045,682	18.1
営業利益	903,650	4.0
営業外収益	197,532	0.9
受取利息	33,394	
受取配当金	20,612	
その他	143,525	
営業外費用	175,294	0.8
支払利息	78,018	
為替差損	65,128	
その他	32,147	
経常利益	925,889	4.1
特別利益	65,900	0.3
固定資産売却益	1,538	
貸倒引当金戻入益	10,030	
持分変動利益	2,227	
その他	52,104	
特別損失	23,737	0.1
固定資産処分損	6,778	
その他	16,958	
税金等調整前四半期純利益	968,052	4.3
法人税、住民税及び事業税	364,380	1.6
法人税等調整額	52,266	0.2
少数株主利益	81,772	0.4
四半期純利益	469,633	2.1

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間
	自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日
	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	968,052
減価償却費	389,436
売上債権の増加額	△ 1,485,013
たな卸資産の増加額	△ 373,605
仕入債務の増加額	1,230,340
法人税等の支払額	△ 788,495
その他	293,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,774
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 353,198
有形固定資産の売却による収入	9,670
投資有価証券の取得による支出	△ 15,998
その他	△ 133,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 493,189
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少額)	△ 712,852
長期借入れによる収入	1,017,547
長期借入金の返済による支出	△ 336,566
社債の発行による収入	400,000
社債の償還による支出	△ 60,000
自己株式の売却による収入	3,390
自己株式の取得による支出	△ 154
親会社による配当金の支払額	△ 213,101
少数株主への配当金の支払額	△ 53,776
株式の発行による収入	6,390
少数株主への清算配当金の支払額	△ 49,776
少数株主への資本金の払戻額	△ 269,316
少数株主の増資引受による払込額	13,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 254,317
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 18,616
V. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	△ 532,348
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	4,355,000
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	3,822,651

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	日本 (千円)	ヨーロッパ (千円)	北米 (千円)	アジア (日本を 除く) (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,625,042	2,887,545	2,613,792	5,295,126	22,421,506	—	22,421,506
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,524,985	997	24,996	5,909,217	12,460,196	(12,460,196)	—
計	18,150,027	2,888,542	2,638,788	11,204,344	34,881,703	(12,460,196)	22,421,506
営業費用	17,369,595	2,896,293	2,615,164	11,033,127	33,914,181	(12,396,325)	21,517,855
営業利益	780,431	△ 7,750	23,624	171,216	967,522	(63,871)	903,650

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度、経済活動の類似性、事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) ヨーロッパ……………チェコ

(2) 北米……………アメリカ、メキシコ

(3) アジア(日本を除く)…………シンガポール、マレーシア、インドネシア、中国、タイ